

平成28年度入学者選抜学力検査問題

専門適性検査

(工学部 デザイン学科)

[午後]

注意事項

1. この冊子は、監督者から解答を始めるよう合図があるまで、開いてはいけません。
2. 机の上には、問題冊子、画用紙、板紙、物体を入れた封筒、募集要項に示された用具、時計、受験票以外のものは置いてはいけません。
3. 画用紙に汚れがある場合、配布された物体に不具合がある場合は、解答を始める前に手をあげて申し出てください。解答に支障があると監督者が判断したときは、新しい物と交換します。
4. 問題冊子に印刷または製本の不具合があったら、手をあげて申し出てください。
5. 監督者から指示があったら、画用紙と板紙の受験番号欄に、受験番号を記入してください。
6. 問題の解釈についての質問は一切受け付けません。
7. 画用紙と板紙、配布された物体は、解答の有無にかかわらず持ち帰ってはいけません。
8. この冊子は持ち帰ってかまいません。
9. その他、監督者の指示に従ってください。

問題Ⅳ

板ガラスと「G」という文字を構成要素として，魅力的な画面を作りなさい。解答は以下に示す条件を満たし，与えられた画用紙を用いること。

【条件】

1. 画用紙は横位置に用いて，受験番号欄のない面に解答する。
2. 画面の大きさは縦 20 cm× 横 27 cm の長方形とする。
3. 板ガラスの数や形，色は任意とする。
4. G の数は一つとし，形は任意とする。
5. 画面はすべて絵の具で着色し，白にする部分は白色絵の具を用いる。
6. 着色はムラのないようにする。

問題Ⅴ

配布された段ボールを自由に加工して組み合わせ、素材感を活かした魅力的な立体を構成しなさい。解答は以下に示す条件を満たすこと。

【条件】

1. 構成する立体は一つとする。
2. 板紙はカッターマットとして使用する。
3. 立体は板紙からはみ出さない大きさとする。
4. 段ボールは使いきらなくてもよい。
5. 段ボールの接合にはセロハンテープを使用しても良い。
6. 立体は持ち運んでも簡単には壊れないものとする。
7. 立体は、板紙の受験番号欄のない面に、セロハンテープで固定する。